

公共事業再評価調査書

主管課：農地水利課

1 事業概要 (整備目的)	事業名：県営かんがい排水事業							
	事業種別：土地改良事業		事業主体：沖縄県		当初事業期間 H11～H18			
	事業箇所：勝連町・与那城町・具志川市		根拠法令：土地改良法		事業期間：H11～H20			
	総事業費(百万円)：7,229		費用内訳：補助 80/100		事業量：地下ダム1基,ファームポンド1基他			
与勝地区は、沖縄本島中部の与勝半島に位置する畑地帯となっている。地区内は、地形や地質的な条件から地表水が乏しく、恒常的な干ばつ被害に見舞われている。本事業では、半島の地下を流れる豊富な地下水を利用することにより安定的な農業用水の供給を実現できるよう地下ダムを建設し、農業経営の安定に向けた基礎条件を確立する。								
2 再評価 該当項目	<input type="checkbox"/> ①事業採択後10年を経過 <input type="checkbox"/> ②事業採択後5年間を経過して未着工 <input type="checkbox"/> ③再評価後一定期間(年)を経過 <input type="checkbox"/> ④事業の中止 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤その他(事業採択後5年経過(着工済))							
3 再評価に至った主な要因 (具体的理由)	<input type="checkbox"/> ①用地取得の困難 <input type="checkbox"/> ②調査・設計の困難 <input type="checkbox"/> ③事業の拡大 <input type="checkbox"/> ④予算の確保 <input type="checkbox"/> ⑤手続き・法令の問題 <input type="checkbox"/> ⑥他事業との関係 <input type="checkbox"/> ⑦整備効果の問題 <input type="checkbox"/> ⑧当初計画が長期間 <input checked="" type="checkbox"/> ⑨その他(事業採択後5年経過(着工済)) 本地区は平成11年度に事業採択され、5年を経過していることから今回再評価に至った。							
4 事業の 進捗状況 (H16.4時点)	項目	事業費(百万円)	地下ダム(m)	ファームポンド(基)	送水機場(基)	パイプライン(km)	用地取得(千㎡)	
	計画	7,229	705	1	1	18.4	6.1	
	実施済	2,140	259	0	0	0.0	3.4	
	率	29.6%	36.7%	0%	0%	0%	55.7%	
5 事業効果の 評価指標 (検討年:50年) (基準年:H16年) (単位:百万円)	① 農業生産向上効果		886		① 総事業費(関連事業費込み)			9,632
	② 農業経営向上効果		△ 22					
	③ 年総効果額(①+②)		864					
	④ 還元率×(1+建設利息率)		0.048365					
	⑤ 妥当投資額(③÷④)		17,861					
	投資効率 = 妥当投資額 ÷ 総事業費 = 17,861 ÷ 9,632 = 1.85							
6 事業を巡る 状況の変化	<p>①社会・経済： 中部地域は都市近郊という有利な条件下にあり、生産基盤の進んだ地域では花卉等の生産による高い農業所得を得ている農家も多い。本地域においても、地理的優位性を生かすために早期のかんがい施設整備が望まれている。</p> <p>②地元・自治体： 本事業の整備を促進するため、関係市町村、区長、JA、製糖工場を構成員とする「与勝地域県営かんがい排水事業推進協議会」が設立されている。</p> <p>③利害関係者： ダム建設箇所における民有地については、工事期間は借地し、完成後は区分地上権を設定する。また、軍用地については日米合同委員会において平成14年度に共同使用が合意されている。</p>							
7 事業の必要性・効率性	<p>①事業の必要性・緊急性・有効性など 本地区は、水源及び畑かん施設等が未整備のため、恒常的に干ばつ被害を受けている。水無し農業から脱却し、農業経営の安定と向上を図るためには、早急な水源及びかんがい施設の整備が必要である。</p> <p>②事業の効率性(代替案の可能性やコスト縮減) 本地区では、地表水が乏しいことから、安定的な農業用水の供給を実現するために、地下水を利用する地下ダムを建設することが効率的である。</p> <p>③事業効果の発現状況 地下ダムは平成19年度完了を目指して建設中であり、末端の散水施設は、関連事業として平成18年度より整備する予定である。</p>							
8 今後の対応 ・見直し	<p>①事業計画等： 効果の早期発現を図るため、地下ダムと併行してファームポンド、パイプライン等の整備を進めていく。</p> <p>②対住民関係： 地下ダム及びファームポンド、パイプライン等の整備については地元の強い要望がある。</p> <p>③執行体制等： 現在の組織体制で、計画的な執行は可能である。</p>							
9 対応方針	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業継続(現計画) <input type="checkbox"/> ②事業継続(見直し) <input type="checkbox"/> ③事業の中止							